

8.3 緑

8.3.1 調査事項

調査事項は、表 8.3-1 に示すとおりである。

表8.3-1 調査事項(東京2020大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 ・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・既存緑地の改変の程度 ・緑化計画
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・クロマツ植林は、工事による影響を回避し既存緑地として保全する計画としている。 ・緑化計画は、江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例（平成25年4月江戸川区）における緑化基準（地上部緑化面積9,900m²）を満たす地上部緑化約9,970m²とする計画としている。 ・高木、中木等を植栽する計画としている。 ・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。 ・植栽樹種は「植栽時における在来種選定ガイドライン」（平成26年5月東京都環境局）等を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との連続性に配慮して選定する。

8.3.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

8.3.3 調査手法

調査手法は、表 8.3-2 に示すとおりである。

表8.3-2 調査手法(東京2020大会の開催後)

調査事項	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度 ・緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度 	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年7月及び10月とした。
調査地点	予測した事項	計画地とした。
	予測条件の状況	計画地とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	予測した事項	任意踏査による植生の状況及び緑化計画図の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び緑化計画図の整理による方法とした。

8.3.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項及び予測条件の状況

ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

計画地内の大部分は駐車場、江戸川区臨海球技場第二及び未利用地であり、植生の状況はセイタカアワダチソウ群落、ヨシ群落の草本群落が見られ、樹木は計画地南側及び西側の外周にクロマツ植林が存在していた。

事業の実施に伴い、計画地内の一部の既存樹木が伐採されたが、クロマツ植林は工事による影響を回避し既存緑地として保全した。また、図 4.2-6 (p. 16 参照) に示すとおり計画地内には 13,278m²の新たな緑地を整備し、高木、中木、低木、芝生を植栽する計画であることから、植栽内容は事業の実施前と比較して多様となる。

イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

計画地内の大部分は駐車場、江戸川区臨海球技場第二及び未利用地であり、植生の状況はセイタカアワダチソウ群落、ヨシ群落の草本群落が見られ、樹木は計画地南側及び西側の外周にクロマツ植林が存在し、事業実施前の緑の面積は約 9,200m²であった。

事業の実施に伴い、計画地内の一部の既存樹木が伐採されたが、計画地内には新たに地上部緑化を行う計画である。また、緑化計画は図 4.2-6 (p. 16 参照) に示すとおりであり、江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例（平成 25 年 4 月 江戸川区）における緑化基準（地上部緑化面積 7,611m²）を満たす 13,278m²の緑地を確保する計画である。

地上部緑化は芝地のほか高木、中木等を植栽する計画である。したがって、高木等の植栽により新たな緑地が創出され、緑の量は増加する。

2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.3-3 に示すとおりである。なお、緑に関する問合せはなかった。

表8.3-3 ミティゲーションの実施状況(東京2020大会の開催後)

ミティゲーション	・クロマツ植林は、工事による影響を回避し既存緑地として保全する計画としている。
実施状況	<p>計画地の南側及び西側のクロマツ植林は工事による影響を回避し既存緑地として保全した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 計画地南側のクロマツの保存 計画地西側のクロマツの保存 </div>
ミティゲーション	・緑化計画は、江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例（平成 25 年 4 月 江戸川区）における緑化基準(地上部緑化面積 9,900m ²)を満たす地上部緑化約 9,970m ² とする計画としている。
実施状況	<p>地上部緑化は芝地のほか高木、中木等を植栽する計画であり、緑化基準（地上部緑化面積 7,611m²）を満たす 13,278m²の緑地を確保する計画である。</p>  <p style="text-align: center;">競技コース内に整備した芝生</p>
ミティゲーション	・地上部緑化として、高木、中木等を植栽する。
実施状況	<p>今後の外構工事により、地上部緑化として、高木約 40 本、中木約 600 本、低木約 4,000 本を植栽する予定である。</p>
ミティゲーション	・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。
実施状況	<p>地上部緑化においては、樹木等が良好に生育するよう十分な厚みの植栽基盤を確保する。</p>
ミティゲーション	・植栽樹種は「植栽時における在来種選定ガイドライン」（平成 26 年 5 月 東京都環境局）等を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との連続性に配慮して選定する。
実施状況	<p>植栽樹種は、「植栽時における在来種選定ガイドライン」（平成 26 年 5 月 東京都環境局）等を参考にするとともに、隣接する葛西臨海公園との連続性も考慮し、ヤマモモ、オオシマザクラ、ナツツバキ、サルスベリ、ヤマボウシ、シャリンバイ、ジンチョウゲ、ハマヒサカキ等を選定した。</p>

(2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

1) 予測した事項

ア. 植栽内容（植栽基盤など）の変化の程度

計画地内の大部分は駐車場、江戸川区臨海球技場第二及び未利用地であり、植生の状況はセイタカアワダチソウ群落、ヨシ群落の草本群落が見られ、樹木は計画地南側及び西側の外周にクロマツ植林が存在していた。

事業の実施に伴い、計画地内の一部の既存樹木が伐採されたが、クロマツ植林は工事による影響を回避し既存緑地として保全した。また、図 4.2-6 (p. 16 参照) に示すとおり計画地内には 13,278m²の新たな緑地を整備し、高木、中木、低木、芝生を植栽する計画であることから、植栽内容は事業の実施前と比較して多様となる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。

イ. 緑の量（緑被率や緑化面積など）の変化の程度

計画地内の大部分は駐車場、江戸川区臨海球技場第二及び未利用地であり、植生の状況はセイタカアワダチソウ群落、ヨシ群落の草本群落が見られ、樹木は計画地南側及び西側の外周にクロマツ植林が存在し、事業実施前の緑の面積は約 9,200m²であった。

事業の実施に伴い、計画地内の一部の既存樹木が伐採されたが、計画地内には新たに地上部緑化を行う計画である。また、江戸川区住宅等整備事業における基準等に関する条例（平成 25 年 4 月 江戸川区）における緑化基準（地上部緑化面積 7,611m²）を満たす 13,278m²の緑地を確保する計画である。

地上部緑化は芝地のほか高木、中木等を植栽する計画である。したがって、高木等の植栽により新たな緑地が創出され、緑の量は増加する。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致する。